

セミナー参加について



1 参加の申込み

8/1より
受付開始

Web・メール・FAX・郵送のいずれかでお申込みください。

【Webでの申込み】

QRコードを読み込み、参加申込み専用フォームから必要事項を送信してください。



<https://forms.gle/1xMty5gp1zT7nZy36>

【メールでの申込み】

件名を「全国セミナー申込み」とし「参加申込書」の内容を明記し送信してください。

メール seminar2022@komedia.or.jp

【FAX・郵送での申込み】

下記「参加申込書」に記入の上ご送付ください。

FAX 番号 092-403-6262

郵送先 〒810-0023 福岡市中央区

警固 1-13-15-404

NPO 法人子どもとメディア

セミナー担当者 宛



2 申込み受付確認

受付のメールもしくはFAXが、申込み後1週間以内に届きます。

【会場参加の方】

お申込み順に残席を確認いたします。入場の可否についてのメールまたはFAXを確認してお支払いください。お席が確保できない場合、Web参加となります。

【WEB参加・動画視聴の方】

受付のメールまたはFAXを確認してお支払いください。



3 参加費お支払い

セミナー専用口座へお支払いください。

福岡銀行 けやき通り支店 普通 395311

特定非営利活動法人 子どもとメディア

代表理事 清川輝基

※振込手数料はご負担ください。

※お弁当の代金は当日会場にてお支払いください。



4 参加のご案内

【会場参加の方】

「参加確認書」を申込みの住所へお送りします。

【WEB参加・動画視聴の方】

メールまたは書面でURLをお知らせします。

参加申込書



FAX 092-403-6262

締め切り 2022年1月10日(月)

フリガナ	所属(属性: 医療・教育(小・中・高・大)・保育・福祉・行政・NPO・一般・その他)
氏名	E-mail:
TEL:	FAX:
住所: 〒	
いずれかに○を付けてください () アクロス福岡での会場参加 ・ () Web参加 ・ () 事後動画視聴のみ	
参加費 3,000円×()名=()円	※会場参加者のみお弁当注文ができます。
弁当代 1,000円×()個=()円	弁当代(お茶付)1個 1,000円(税込)は当日お支払いください。
備考欄 ※複数人数分お申し込みの場合は全員分の氏名(フリガナ)をご記入ください	

(来場希望の方へ) COVID-19 感染拡大防止のため会場の人数制限を設けます。座席確保の後、お支払いが確認できた方には「参加確認書」をお送りしますので、当日お持ちください。当日は出かける前の検温、会場での検温、マスク着用にご協力ください。発熱や体調不良のある方の来場はご遠慮ください。COVID-19 感染が疑われる、感染対策にご協力いただけない場合など、入場をお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。

子どもとメディア全国セミナー

激変する 子どもの メディア 環境



2020年、突然3カ月の休校。
今、子どもたちの変化が続々と報告されています。
そして、コロナ禍でGIGAスクール構想は急発進。
子どものメディア環境の激変を受け、セミナーを開催します。

2022年 2月20日(日)

時間: 10:00~16:00

参加費: 3,000円
(資料代含む)

会場: アクロス福岡大会議室
(定員90名) 福岡市中央区天神1丁目1-1
地下鉄空港線天神駅から徒歩5分
水鏡天満宮前バス停から徒歩0分

WEB

Web参加(定員500名)

お申込みいただいた方は、後日、期間限定で録画映像を観られます。録画視聴のみの受付もしています。

※COVID-19の感染状況等により、Web参加と動画視聴のみの開催に変更することがあります。あらかじめご了承ください。

申込: Web・メール・FAX・郵送

「セミナー参加について」をご覧ください



主催: NPO法人 子どもとメディア
〒810-0023 福岡県福岡市中央区警固1-13-15-404
TEL 092-724-6323 FAX 092-403-6262

共催: 公益社団法人 日本小児科医会
後援: 福岡市教育委員会

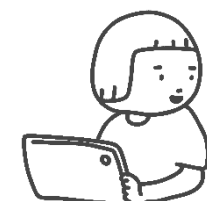
要注意！乳幼児の スマホ・タブレット依存

- 10:00-10:05 主催者あいさつ
- 10:05-10:30 特別報告「社会的観点からの成育基本法について」
神川 晃（日本小児科医会会長）
- 10:30-10:55 基調報告1「乳幼児健診での調査報告と啓発の意義」
～とまらない？ 乳幼児のスマホ接触～
佐藤 和夫（子どもとメディア代表理事）
- 10:55-11:20 基調報告2「園での実態調査から見えること」
～幼児期のメディア接触啓発は園が要～
山田 真理子（子どもとメディア代表理事）
- 11:20-11:45 基調報告3「臨床現場から見える子どもたち」
内海 裕美（日本小児科医会 業務執行理事）
- 11:45-12:30 ディスカッション～子どもに関わる現場から～
コーディネーター：原 陽一郎（子どもとメディア専務理事）
- 12:30-13:30 休憩 ※室内で飲食の場合は、黙食にご協力ください

G I G Aスクール時代 ～タブレットは きたものの～

- 13:30-13:55 報告「G I G Aスクール 全国の状況は…」
清川 輝基（子どもとメディア代表理事）
- 13:55-15:05 報告「G I G Aスクール 学校現場の現状」
登壇者：豊泉 行男（前静岡市立千代田小学校 校長
現静岡市立清水飯田中学校 初任者研修指導教員）
松島 恒志（長野県佐久市立野沢中学校 校長）
酒井 美佐緒（福岡市立百道浜小学校 校長）
コーディネーター：清川 輝基
- 15:05-16:00 ディスカッション「G I G Aスクール時代にどう向き合う」
コーディネーター：清川 輝基

※COVID-19感染拡大防止のためスケジュール等変更することがございます。



セミナー開催にあたって

2020年、新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるい、子どもたちの暮らしにも大きな影響をもたらしました。3カ月に及ぶ休校、外出や外遊びもままならない自粛要請の結果、子どもたちは、スマホ、ゲーム機、タブレット、パソコンなど、電子映像メディアに向き合う「スクリーンタイム」の時間を大幅に増やすことになりました。

その結果、子どもたちの心の変調や視力悪化、低学年児の足の異変などが各地の学校から報告されており、休校は子どもたちの育ちに傷痕を残しています。

さらに、コロナ禍で4年分の予算が一気に通ったG I G Aスクール構想は、経済産業省主導の教育改革プランで、全国の小中学生全員にタブレットかパソコンを配付する等、子どもたちにネットリテラシーが身につかないままスクリーンタイムが増える事態が始まるうとしています。

こうした学校内でのスクリーンタイムと家庭でのスマホやタブレット使用時間を総合的に管理するという発想は現在の学校にはありません。

一方、様々な調査から5歳以下の乳幼児の半数以上がスマホやタブレットでインターネットの世界を経験していることも明らかになっていきます。G I G Aスクール構想の影響で今後さらにネット接触の早期化、長時間化が乳幼児の世界でも進行することは間違いなんでしょう。

この国の子どもたちの心やからだ、言葉の発達にどんな影響が現れるのか気がかりです。
子どもとメディアのこうした状況をふまえて2022年2月セミナーを開催し、現在の問題点を明らかにし、学びあう機会を設けることとしました。

